

思えない。少なくとも今までのものとは独立の新しい距離尺度が生まれたことは確かである。

天馬のデータを提供していただいた田中靖郎教授を始めとする天馬チームの人々に感謝する。ここで用いたデ

ータは和気泉さん（現在、日立中央研究所勤務）が解析したものである。さらに、啓発的な議論を続けてくださった指導教官の杉本大一郎教授や花輪知幸さんなど、野本ゼミのメンバーに感謝したい。

PASJ から外国誌への論文流出についてのアピール

最近 PASJ への投稿者の一人の方より我国の天文学研究論文で PASJ 以外の外国誌等に流出するものが増えて居るという御指摘がありました。この方はその原因として (i) PASJ の掲載料が高いから？ (ii) PASJ のサーキュレーションが悪いから？ (iii) 外国誌に投稿する人は PASJ を二流誌と見做しているから？ 等の可能性を挙げ、この傾向が増加すれば我々の論文発表の media としての PASJ はどうなるかと危惧を表明しておられました。

この方の指摘されたように我国の天文学研究論文が、従来はほとんどが PASJ に出されていたのに、特にここ数年 *Astrophysical Journal* 誌や *Astronomy and Astrophysics* 誌に流出するもの数が増えているというのは事実だと思います。これは実は編集部としましても気がついて居りまして、今迄にも数回この様な傾向について意見交換を行ないました。

PASJ が *Ap. J.* 等に比べてサーキュレーションが悪いのは事実で、最近、諸外国の研究所等で予算節減等のあおりを受けて購読がむしろカットされ兼ねない雲行きにあること、*Ap. J.*, *Astron. & Ap.*, *MN* 等の雑誌の volume が急増して外国の研究者自体がそれらに目を通すのがやっとなという感じで、それ以外はあまり読んでもらえないようになって来ていること、等の複合効果で、一時より少しサーキュレーションが落ちているのが事実かも知れません。編集部での意見交換は、この様な傾向に対して PASJ はどう対処すべきかという事でありました。

これに関して、編集部の分析では我国の研究者で *Ap. J.* 等に投稿する人が増えているのは上の (i)~(iii) のうちでは (ii) が最大の原因となっていると考えています。最大の流出先である *Ap. J.* についてはその掲載料は PASJ よりぐっと高いので、(i) だけが論文流出の原因でない事は明らかです。むしろ、これはと思う論文をサーキュレーションの良い外国誌に投稿するために出費がかさみ、その結果それ以外の論文を出したい PASJ の掲載料がもっと安ければ良いのにと感じるグループが多くなっていることの様です。又、外国誌に投稿した人も、決して PASJ が論文を出すに値しないなどと考えたからでは

なく、むしろ (iii) とは逆に PASJ は質的には既に十分 *Ap. J.* などと比肩出来ると感じつつも、よりサーキュレーションのよい外国誌に研究結果を出版したいと考えたものようです。やはり原因をたどると (ii) が問題の根だった様です。

編集部の論議は、従って、どうしたら他の主要誌の volume 増大、外国研究所図書室等の予算節減に伴う講読減少、等の影響に対抗して PASJ のサーキュレーションを上げて行く事が出来るかという点に集中致しました。サーキュレーションが良くなれば PASJ を二流誌であると考えているのでは決してない我国からの外国誌投稿者達は進んで PASJ に戻るでしょうし、そうすれば出版関係費用が苦しいという感じを持つ所は大幅に減るのが現実ではないだろうかと思うのです。

編集部の提案

編集部としては、論文著者が外国誌等に投稿する事は著者の基本的自由¹⁾に属する事ですので、それをやめる様に提案する等の事は出来ません。これに関しては PASJ という我々の発表基本メディアを隆盛に保つ事は我々日本の天文学者自身の利益であるという事をお互いに認識し直す事を強くアピールしておきたいと思えます。そして PASJ のサーキュレーションを良くする具体的方策として、既に励行して居られる方も勿論あると思えますが以下の提案をしたいと思えます。

PASJ 論文のリプリントを最大限に活用すること。著者はその論文に興味を持つ筈の国内国外の研究者を徹底的に調べ、それらの人々にリプリントを送ること。漫然と送っている場合（例えば単に自分が refer した人に送るなどの場合）と違って、こうする事により関心の対象の近い研究者には、PASJ に目の届いていない人にも、その論文の存在を確実に知ってもらう事が出来る。意味ある論文であれば多くの場合引用される筈です。この様にして PASJ からの引用が増えれば、外国の研究者も PASJ を読まざるを得ず、外国研究所の図書室等も PA

* 小グループ、個人等で PASJ の掲載料が現実に論文を投稿する事を妨げているケースがありましたら、編集部にて御相談下さい。

SJ を購買せざるを得なくなるでしょう。そうすれば我国の研究者は外国誌に投稿しなくても済むことになり外国誌に流出する論文のかなりのものは PASJ に戻ることになるでしょう。

以上は一見迂遠で面倒な事のように思えるかも知れませんが外国研究者は多くの方が励行していることであると思えます。必要情報が無関係情報に埋もれてしまって見えにくい情報過多時代にはそれだけ読んでもらう工夫、努力が必要なのでしょう。以上 PASJ 編集部からアピールしたいと思いペンをとりました。

(PASJ 編集 内田 豊)

雑 報

天文・天体物理若手夏の学校

第 14 回、天文・天体物理若手夏の学校は、1984 年 7 月 24~28 日に福島県田村郡滝根町の滝根町公民館にて開催された。なお、今回は東北大学理学部天文学教室が担当した。参加者は講師 4 名を含めて 116 名にも達し、ここ数年では最多であった。また、全体企画、分科会、更に夜の部に渡って若手の活発な意見交換が行なわれ盛況であった。プログラムの大要は以下の通りである。

○全体企画

テーマ：「銀河円盤部の進化をさぐる」

講 師：有本信雄，藤本光昭，佐場野 裕，野本憲一
各氏

25日(午後) 化学進化 1 (有本氏)
星間ガスの状態と dynamics (藤本氏)
星生成 (佐場野氏)

26日(午後) 質量放出 (野本氏)
化学進化 2 (有本氏)
パネルディスカッション (有本，藤本，
佐場野，野本各氏)

○分科会

25日(午前) 銀河団，高エネルギー
26日(午前) 銀河構造，アクリーション，観測器機
27日(午前) 太陽，星間物質
(午後) 太陽(続き)，宇宙論・相対論，銀河中心
核，銀河構造(続き)

28日(午前) 天文学と社会
来年度は東京大学理学部天文学教室が担当する。

(柴田克典，亀谷 収)



D. Reidel Publishing Company

好評発売中

Alphabetical list of members

INTERNATIONAL ASTRONOMICAL UNION

Paper ¥3,300 ISBN 90-277-1569-6
1983 D. Reidel Publishing Company

CLUSTERS AND GROUPS OF GALAXIES

International Meeting held in Trieste, Italy,
September 3-16, 1983

edited by
F. MARDIROSSIAN, G. GIURICIN and M. MEZZETTI
Osservatorio Astronomico di Trieste, Italy
ASTROPHYSICS AND SPACE SCIENCE
LIBRARY 111

704 p.p. ISBN 90-277-1772-9
Cloth ¥26,400 D. Reidel Publishing Company
1984,

OBSERVATIONAL TESTS OF THE STELLAR EVOLUTION THEORY

Symposium No. 105 held in Geneva, Switzerland,
September 12-16, 1983

edited by
ANDRÉ MAEDER
Geneva Observatory, Sauverny, Switzerland

ALVIO RENZINI
Astronomy Department, University of Bologna, Italy

I A U SYMPOSIA 105
616 pp.
Cloth ¥19,250 ISBN 90-277-1774-5
Paper ¥8,800 ISBN 90-277-1775-3
1984, D. Reidel Publishing Company

新刊

PHYSICS OF THERMAL GASEOUS NEBULAE (PHYSICAL PROCESSES IN GASEOUS NEBULAE)

by
LAWRENCE H. ALLER, Professor
University of California, Department of Astronomy, Los Angeles,
California, USA

ASTROPHYSICS AND SPACE SCIENCE
LIBRARY 112

356 pp.
Cloth ¥13,750 ISBN 90-277-1814-8
1984, D. Reidel Publishing Company

PROBLEMS OF COLLAPSE AND NUMERICAL RELATIVITY

Proceedings of the NATO Advanced Research
Workshop on Problems of Collapse and Numerical
Relativity, Toulouse, France, November 7-11, 1983

edited by
DANIEL BANCEL
Université Paul Sabatier, Toulouse, France
MONIQUE SIGNORE
Observatoire de Meudon, Meudon, France.

NATO ADVANCED SCIENCE INSTITUTES SERIES
C: MATHEMATICAL AND PHYSICAL SCIENCES 134

416 pp.
Cloth ¥15,950 ISBN 90-277-1816-4
1984, D. Reidel Publishing Company



Reidel 日本総代理店

株式会社

ニユートリノ

東京都港区赤坂 8-4-7 カームビル
TEL (03)405-6137(代) 〒107